

平成29年度 第1回 釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 次第

日時:平成29年5月30日(火)

午後1時30分～午後2時45分

場所:釧路市役所 防災庁舎5階
災害対策本部室

1. 開会

・「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 設置要綱」第六条第二項の規定により、委員11名中10名出席につき、過半数の委員の出席があったため、当会議成立を確認。

2. 委嘱状交付

<名塚副市長より、各委員へ委嘱状交付>

3. 副市長あいさつ

4. 委員紹介

5. 議事

(1) 総合戦略交付金対象事業の進捗管理について

・事務局より【資料1】「総合戦力の数値目標と施策の進捗について」、【資料2】「地方創生各種交付金における推進会議の役割」、【資料3-1】「平成28年度 地方創生加速化交付金事業の概略と KPI」、【資料3-2】「平成28年度 地方創生推進交付金事業の概略と KPI」、【追加資料】「釧路・阿寒・摩周 おもてなしナビアプリ」、「特別区 全国連携プロジェクト推進事業」、「情報活用により観光客おもてなし能力向上プロジェクト」、「釧路応援ファンド活用事業」をもとに説明

委員より説明内容について質問あり

<以下、質疑応答【◎…議長 ○…委員 ■…釧路市】>

○東北北海道の空港連携海外観光客誘致事業について、台湾チャーター便就航の実現に向けて現在期待出来る様な動き等はあるのか。

■現在、3市連携で取り組んでいるところだが、絶対的に釧路空港という事ではなく、まずはいずれかの空港への実現へ向けて協議をしていくと聞いている。

○今回、この進捗の状況確認ということでまず KPI が設定されているが、最終的に平成 29.3 までの達成目標としていて、今実績値を拝見すると、既に平成 28 年度において宿泊延べ数であったりとか航空の乗降客数とかは既に達成していると言う状況がある。これについては概ね順調という認識なのか、既に達成しているということであれば更に上を目指していくということになるのか、どういう認識なのか。

■各事業に関する KPI については、指標値ということで実は平成 28 年度事業であって、このKPIは例えば空

港の乗降客数、69.8 万人は平成 28 年度の目安として作成した数字である。資料の右側にある通り、平成 27 年度は実績値 69.4 万人。これを基に平成 28 年度に 69.8 万人を KPI として設定した中で、平成 28 年度実績は 72.4 万人であった。こちらの分においては指標値、KPI を達成したと言える。又、例えば平成 28 年度、宿泊客の延べ数についても、KPI として 140 万人を目指した中で、実績が 145.2 万人であったので達成と言える。この傾向というのは、ここ数年増加傾向にある。私共の取組の成果もあるが平成 27 年度の成果が翌年に出てきている部分もある。先程の話にもあったが台湾チャーター便就航の誘致も行っているが今後又成果が出てくるのではないかと考えている。

この傾向をとらまえた中で私共として1つの指標となる部分はクリアしているが、今後更に延ばすような取組をしていかなければならないと考えている。順調にきている要因は外部要因として、例えば為替の問題、海外の情勢等々の影響を受ける部分もある。近年はその辺の影響が比較的少なく順調に推移しているので、引き続きそういった外部要因もとらまえた中でこの KPI の数値、推移を見守っていきたいと考えている。

○おもてなしナビアプリについて

自分が観光客の立場になってアプリをダウンロードしてみた時、映像も少なく、何の魅力も感じないアプリだと思った。色々な国の言語を使ったとしても、まず映像から入るので、その地域の魅力が伝わる様な、もっとワクワクする様な写真を使ってほしい。

◎KPI だけを見るとクリアしたかのように見えるが、実はご指摘の様な話の方が大切だと思う。5つの事業の内、宿泊客延べ数等4つの KPI が一緒である。色々な物が合わさって宿泊客延べ数が出来ているので、ここだけを見て良かったという話ではなく、それぞれ取組をした結果、利用者の反応や、それによって観光客の増加にどう結びついたか、そういう所をしっかりと見て次回の進捗時に説明を頂き、それに対して又皆様からご意見を聞く方向で今回のご指摘を今後に活かしていきたいと思う。

○地方創生において観光はマーケティングがすごく大事で、その部分の予算は費やした方が良いのではないかな。誰が作るか、どの層に訴えるかで全然作っていくものが違うと思うので、行政の視点じゃなくて民間だとか若者だとか、そういった視点で来る側の方の視点を優先して何でも作るという発想の方が大事かなと思う。

■今回この事業で調査関係はかなり多かったので、それをどう活かすかが大切なのであって、是非調査結果を活用し良いコンテンツを作っていただければと思う。

○近年、全国的に気温上昇にある中、避暑地である釧路市をアピールする為に、涼しさなどをリアルタイムで実況を発信、又は実際に滞在した方々のアンケートを実施する等をして、首都圏の人々をターゲットにしていって釧路へ呼び入れ出来ないか。

■現在、長期滞在の取組で、5年連続全道1位ではあるが、今後も市民協働推進課、観光サイドと合わせてご意見を伝えさせて頂きたいと考えている。

○若者女性の希望がかなう「しごと」づくり事業について、就職の全体的な数字は出ているが実態については、就職数の結果報告の形式が曖昧である。

女性が就職したら何が得るのか、又、運営側と受講している方々の温度差が無くなっているかどうか見える様な形の報告にしてほしい。

◎色々な把握の仕方も数字だけではなく、実態をよく分かる様な把握の仕方をこれから色々な形で工夫をしていかなければいけない。

○ショーケースのフォーラムに参加して、これから阿寒と摩周地区が欧米人をターゲットにしていこうとしているが、こうした今の計画を聞いていくと台湾を中心としたアジアとなっている。その辺の住み分けについてどうされているのか。

■現状、台湾・中国、又、東南アジアのマレーシア・シンガポールが今、増えてきている。その中でも、阿寒地域については欧米系の皆様の誘客という部分に力を入れて行きたい。現実、欧米系の方々も少しずつ伸びを示しているところで、阿寒観光振興課を中心に取組をしっかりと進めて行きたい。ただ市場としては台湾・中国のほうが大きく、新規の市場開拓としての欧米と、これまでの最大の市場としての台湾・中国を両にらみで取り組んでいきたい。

(2)その他 議題

・事務局より【資料】「第1回釧路若者△カイギ」の開催について説明

<以下、質疑応答【○…委員 ■…釧路市】>

○『若者△カイギ』〜とてもすばらしいと思うが実際参加した人から話を聞くと、全体的に若者が少なかったと聞いた。トップの人間も若くない人がいたり、メンバーに行政の人間が居たと聞いた。本当に若者が参加出来るしくみになっているのだろうか。

■しくみに対して私どもは全く関与していない。若者たちが試行錯誤しながら考える事が良いと思っている。行政の人間とあったが、立ち上げメンバーの知り合いとして、行政の人間の参加はあり得るが、市の職員としての立場での参加は無かった。

- ・参加応募人数 99名
- ・実際の参加人数 110名程
- [内 訳]
- ・10代 5名
- ・20代前後 17名
- ・〃 後半 9名
- ・30代前半 13名
- ・〃 後半 20名
- ・40代見学 17名
- ・不明 1名
- ・その他、スタッフ・プレゼンター 等

○わかもの△カイギの委員をしているものとして、1つ課題としてあるのが、若者に参加してほしいが「無関心な

若者をどう引き込むか」である。アクティブな方々はある程度の参加を見込んでいたが、そのアクティブな人達だけを対象にして良いのか、行動的ではない人達へ声掛けをし、どう引っ張り出すかというのが大事だと議論した。まずは、一度やってみて、1回目でできなくても、それが次に繋がって、そうして広がっていったら良いと思う。ご指摘のとおり、いかに若者を巻き込むのかが課題であると考えている。

■財務事務所、日専連の様々なご協力の申し出を頂いている。私どもと一緒に見守り隊の一員として、ご参加を頂くか、各事業主さんから若い人達への参加を促していただければ有難いと思っている。

◎確かに、30代後半は若者でないと思われるでしょうが、その中でどうしていくのか、試行錯誤しながら、進んでいくと思うので温かく見守っていきたい又、支援していきたいと思っている。

6. 閉会

(了)